

○過年度決算において、原因究明せずに不明金を特別損失等で処理したものの状況

<特別利益計上>

(単位:円)

病院	財務調査における指摘	平成22年度における特別利益額(A)	指摘に対する全社連からの調査報告						③主な発生原因	
			①本来、平成22年度に特別利益を計上すべきであった額(B)			②あるべき残高と会計残高の差額に関する過去5年分(19~23年度)の発生原因調査				
			差額(A-B) *平成24年度決算で修正が必要な額	調査対象額(C)	Cのうち発生原因判明分	Cのうち発生原因不明分				
札幌社会保険総合病院	平成22年度決算において、仕入債務(買掛金・未払金・未払費用)の不明残高が存在していたことから、特別利益として処理されている。 この金額は、あるべき残高に修正したものであるが、当該差額の発生理由の調査が行われていない。	74,879,351	特益	74,879,351	特益	0	74,879,351	65,528,538	9,350,813	費用過大
合計		74,879,351		74,879,351		0	74,879,351	* 65,528,538	* 9,350,813	

<特別損失計上>

(単位:円)

病院	財務調査における指摘	平成23年度における特別損失額(A)	指摘に対する全社連からの調査報告						③主な発生原因	
			①本来、平成23年度に特別損失・特別利益を計上すべきであった額(B)			②あるべき残高と会計残高の差額に関する過去5年分(19~23年度)の発生原因調査				
			差額(A-B) *平成24年度決算で修正が必要な額	調査対象額(C)	Cのうち発生原因判明分	Cのうち発生原因不明分				
社会保険大宮総合病院	平成23年度決算において、医業未収金が過大に計上されていたことから、特別損失として処理されている。 この金額は、保険診療に係るあるべき残高と財務会計上の医業未収金の差額と、健診未収金の過去の過大計上分との合計額を一括して処理しているのみであり、当該差額の発生理由の調査が行われていない。 また、健診未収金の不明残高についても特別損失として処理されている。 当該差額の発生理由の調査が行われていない。	254,506,932	特損	290,032,702	特損	35,525,770	290,032,702	260,425,936	29,606,766	収益消込漏れ、重複計上等
社会保険中央総合病院	平成23年度決算において、徴収不能損失として処理されている。 この金額は、決算整理前の医業未収金とあるべき医業未収金との差額であり、本来は特別損失として計上すべきもの。 当該差額の発生理由の調査は、行われていない。	148,050,690	特損	98,784,310	特益	49,266,380	107,741,979 (注1)	85,410,694	22,331,285	収益計上漏れ、保留未計上等
社会保険徳山中央病院	平成23年度決算において、医業未収金が過大に計上されていたことから、特別損失として処理されている。 財務会計上の医業未収金を医事会計システム上の残高に修正したものであるが、当該差額の発生理由の調査が行われていない。	63,181,107	特益 (注2)	68,790,424	特益	131,971,531	131,971,531	130,253,990	1,717,541	収益計上漏れ等
星ヶ丘厚生年金病院	平成23年度決算において、医業未収金残高が過大に計上されていたことから、特別損失として処理されている。 財務会計上の医業未収金を医事会計システム上の残高に修正したものであるが、当該差額の発生理由の調査が行われていない。 また、健診未収金も過大に計上されていたことから、特別損失として処理されている。 財務会計上の残高を管理台帳上の残高に修正したものであるが、当該差額の発生理由の調査が行われていない。	12,869,561	特益 (注2)	15,001,095	特益	27,870,656	56,616,032 (注1)	調査中	調査中	調査中
健康保険人吉総合病院	平成23年度決算において、患者未収金残高が過大に計上されていたことから、特別損失として処理されている。 患者未収金残高を医事会計システムの残高に修正したものであるが、内容等を確認した証跡は残されていない。	3,575,787	特損	3,776,879	特損	201,092	3,776,879	3,774,562	2,317	重複計上等
合計		482,184,077		476,385,410 (内特損392,593,891) (内特益 83,791,519)		244,835,429 (内特損 35,726,862) (内特益 209,108,567)	590,139,123	479,865,182 (注3)	53,657,909 (注3)	

(注1)平成22年度以前にも決算修正を行っており、当該額を加えた額を調査対象額としている。

(注2)当該病院は、平成23年度決算で特別損失を計上していたが、調査を行ったところ、特別利益を計上すべきことが判明したことを指す。

(注3)1病院でなお調査中であり、その額は含まれていない。

<平成22年度において、原因究明せずに不明金を特別損失等で処理したものの状況(当初調査対象に含まれていなかった川崎社会保険病院)>

(単位:円)

勘定区分	財務調査における指摘	平成22年度における特別利益・特別損失額
特別利益計上	平成22年度決算において、未払い費用等についてあるべき残高を算出し、会計帳簿と差額を修正したものである。 当該差額が何が原因で発生したのかは過去の管理状況等が悪く、個々に理由を把握することは困難な状況である。	105,205,578
特別損失計上	平成22年度決算において、医業未収金等についてあるべき残高を算出し、会計帳簿の差額を修正したものである。 当該差額が何が原因で発生したのかは過去の管理状況等が悪く、個々に理由を把握することは困難な状況である。	220,914,213